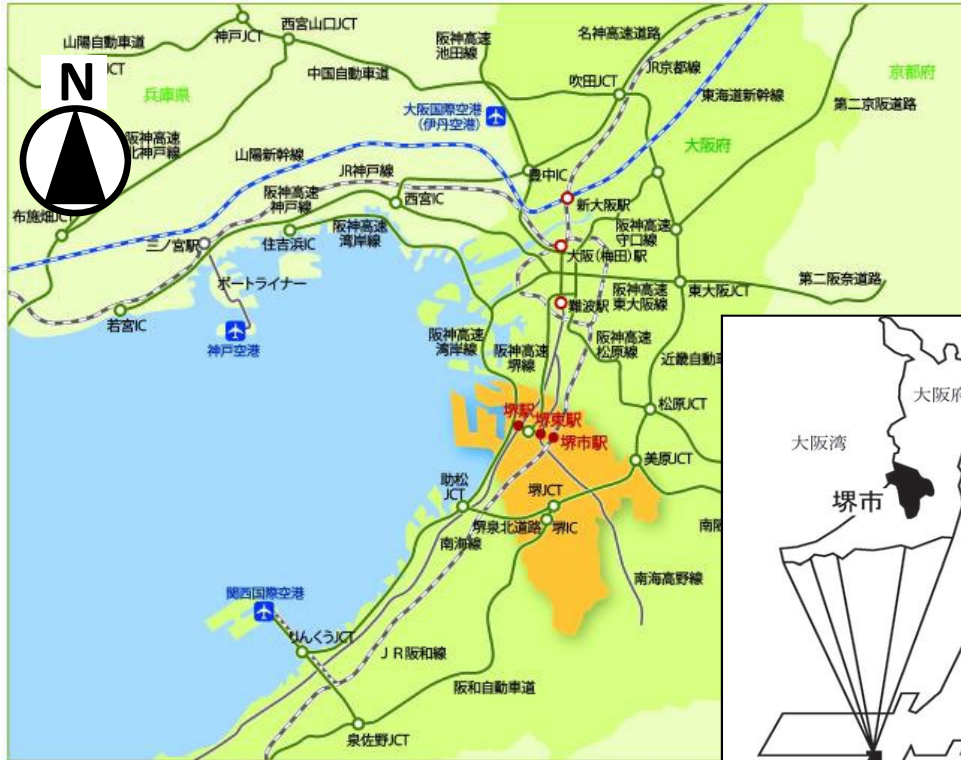


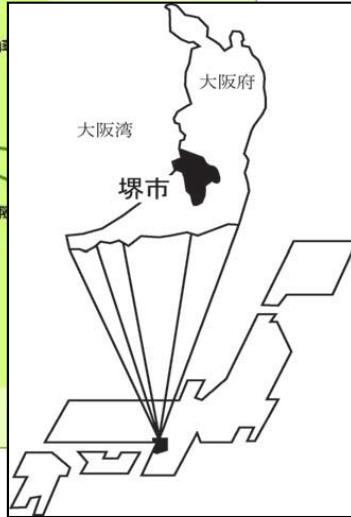
# 堺市における自転車利用環境向上への取り組み



# ■堺市の概要



- 大阪府堺市
- 大阪府の南部に位置
- 人口約84万人
- 政令指定都市





# 「自転車のまち 堺」の由来



堺に自転車産業が根付いた経緯としては古墳時代まで遡る。

仁徳天皇陵古墳築造にあたり、鉄製品加工の技術者が堺に集まる。

自治都市として繁栄していた中世に、鉄砲が種子島に入ってくると、当時の戦国武将たちは鉄砲をこぞって求めるようになり、堺では商人が鉄砲の製造技術を学び、鍛冶職人に鉄砲を大量に作らせてきたことにより、鉄砲の一大産地となった。



また、タバコがポルトガルから日本に伝来し、タバコ包丁の製造が始まると、金属加工の技術は刃物の製造にも活かされ「堺の包丁」という地場産業となった。

明治の初めに西洋から自転車が伝わると、鉄砲鍛冶の技術が自転車の修理に活かされるようになり、その後、自転車の国産化が始まると、堺に多くの自転車部品を製造する事業所が集積した。



戦後、高度成長期での自転車の需要の急速な増加に伴い、堺の自転車産業も発展を遂げ、堺は名実ともに自転車産業のまちとして世界に名を馳せた。

## これまでの取り組み

H13. 9 堺市自転車環境共生まちづくり基金条例制定

H14. 12 堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会設立

H25. 6 堺市自転車利用環境計画の策定

H26. 6 堺市自転車のまちづくり推進条例の制定〈H26.10施行〉

H27. 4 自転車まちづくり推進室から自転車まちづくり部に組織改正

# 組織

## 自転車まちづくり部

●自転車企画推進課 14名  
市民協働による自転車のまちづくり  
コミュニティサイクル事業  
交通安全の普及啓発・交通安全対策

●自転車環境整備課 8名  
自転車通行環境整備・駐輪場の改修

●自転車対策事務所 13名  
放置自転車対策  
駐輪場管理運営（H23年に指定管理移行）

# 堺市自転車利用環境計画 <平成25年6月策定>

## ▼ 堺市自転車利用環境計画 イメージ図

### 「自転車のまち 堺」の飛躍 ～自転車を利用しやすいまち～

#### 基本理念

市民が自転車を大切に扱い、市民・事業者及び行政が協働して、交通ルールの遵守・マナーの向上を図るとともに、安全で安心して、そして楽しく利用することができる自転車のまちづくりを進めます。

#### 3つの目標< 10年後 >

- ・自転車の利用を促進…自転車の利用割合を24%から30%まで増加
  - ・自転車に関与する事故を減少…自転車関連事故件数1,582件から20%削減
  - ・自転車利用に関する市民満足度を向上…市民満足度を50%以上
- 計画期間 平成25年度～平成34年度

#### 4つの柱

つかう  
利用促進

まもる  
安全利用

とめる  
駐輪環境

はしる  
通行環境

安全に通行できる  
自転車通行環境  
を形成

# 本市の自転車を取り巻く情勢について

## 本市における自転車の分担率

自転車は、都市部における交通手段として、重要な役割を果たしている

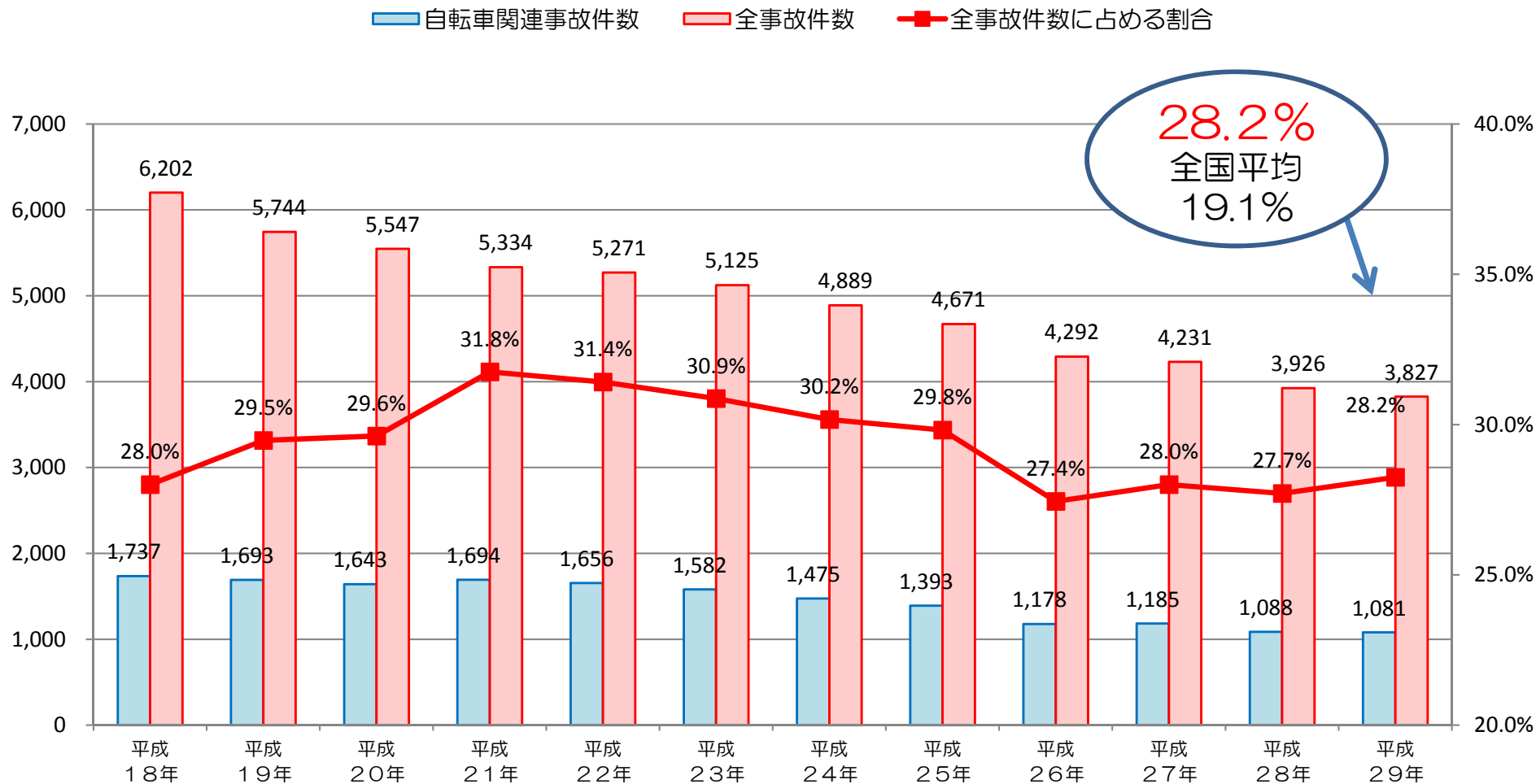
### 政令指定都市における通勤・通学目的の自転車の分担率



参照データ:平成 22 年度国勢調査 「常住地又は従業地・通学地による利用交通手段(16区分)別 15歳以上自宅外就業者・通学者数」の内【常住地】のデータを用いて、「利用交通手段:1種類自転車」/「不詳を除く総数」とする。

# 本市における交通事故件数の推移

交通事故全体に占める自転車関連事故の割合が**全国平均の約1.5倍**！

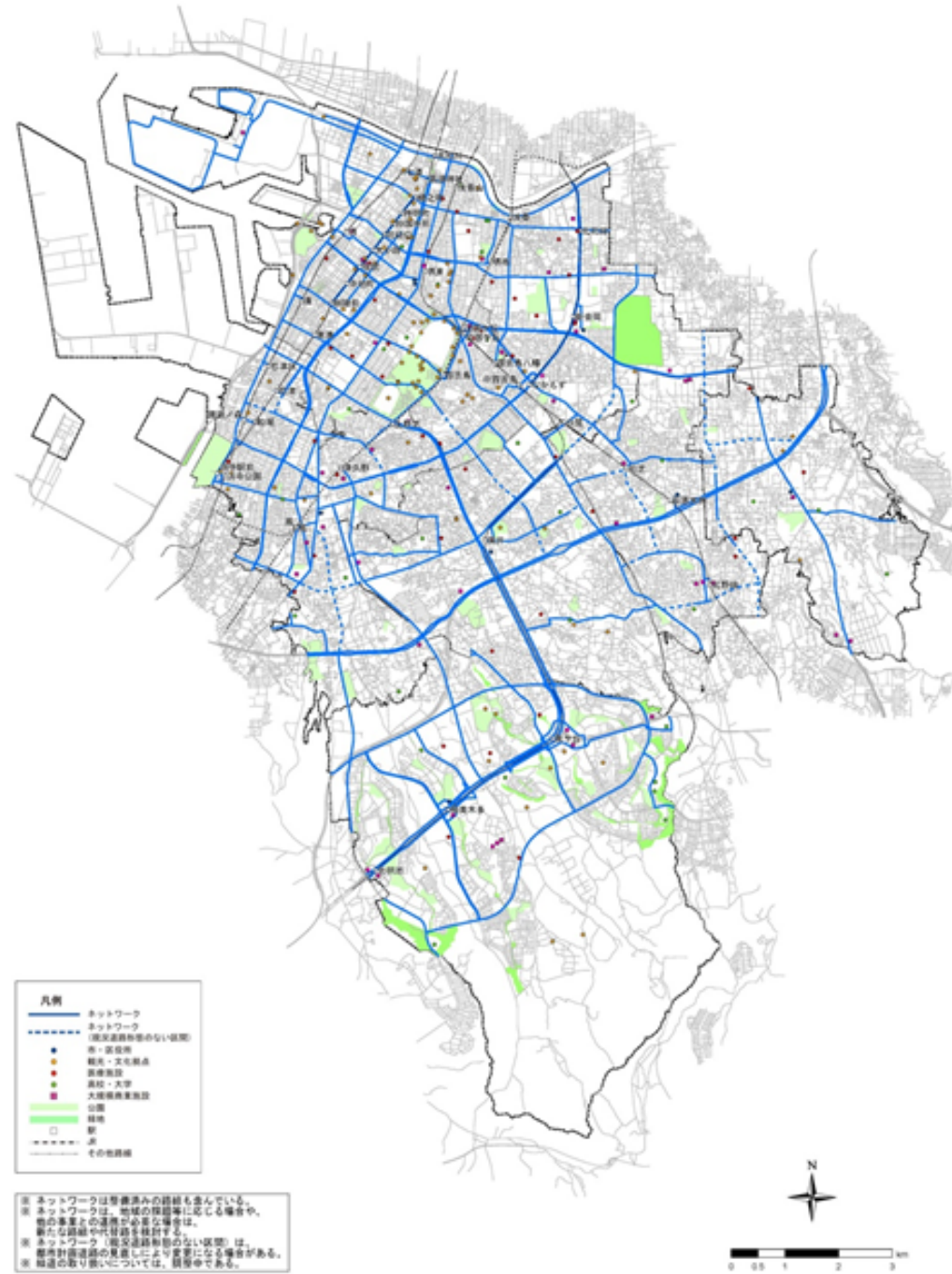


堺市における交通事故件数の推移（参照元：警察庁HP、堺市の交通事故統計、等）

自転車関連事故をいかに削減するか



# 堺市自転車ネットワーク図

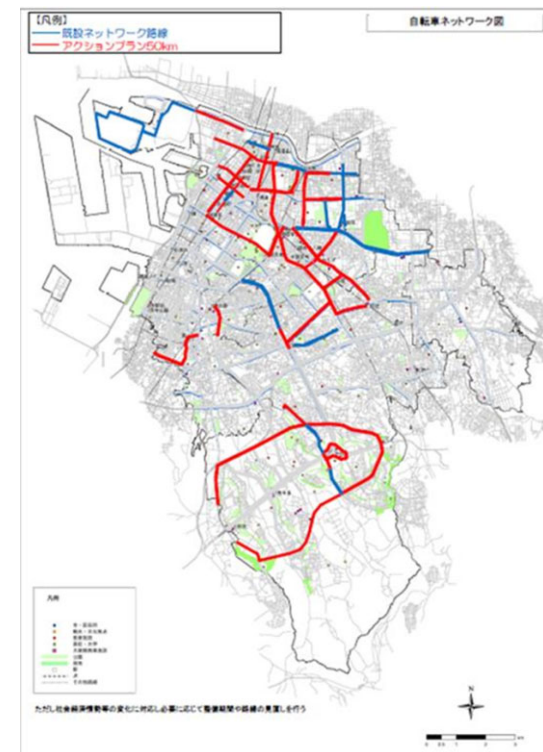
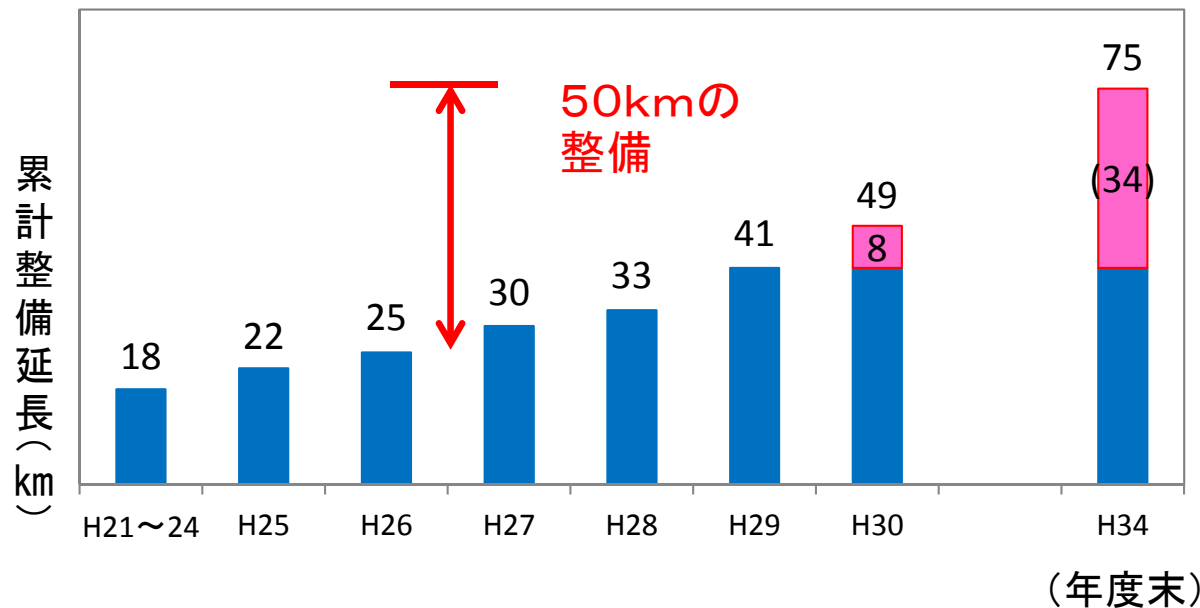


# 堺市自転車ネットワーク整備アクションプラン50km

自転車ネットワークのうち、自転車利用が多いエリア、自転車事故が多い箇所、来訪者が多い地域等から優先的に整備を進める路線を抽出

平成27年度～平成34年度（整備計画 約50km）

## 整備目標



# 通行環境の取り組み状況

4 1.4 km 整備 (平成30年3月末時点)

	①自転車道	②自転車レーン	③歩道の視覚分離
整備方法			
整備延長	3.1km	20.3km	18.0km
路線名	新金岡80号線 府道堺狭山線（泉北1号線）	深井73号線、三宝高須線、 錦南宗寺線、宮山台茶山 台線、新家深井線 など	府道大阪高石線(新)、 金岡公園東線 など

※自転車道や自転車レーンの整備に重点化



# 整備事例（グレーチング蓋の取り替え）

整備前

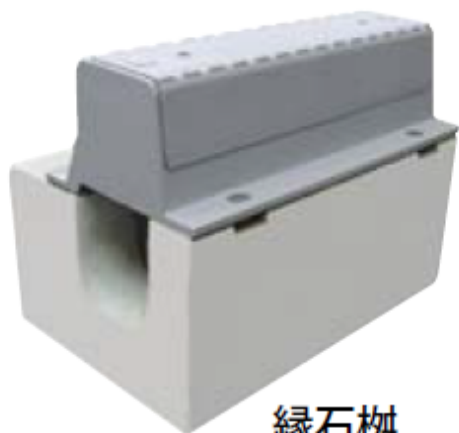
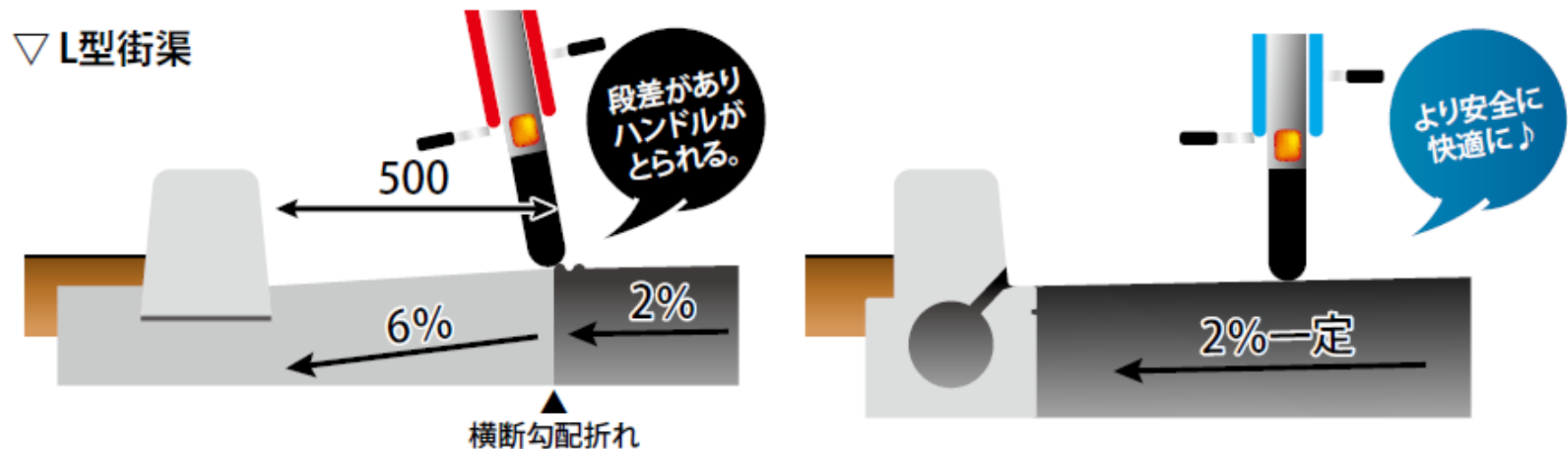


整備後





# 整備事例（街渠形状）



縁石柵



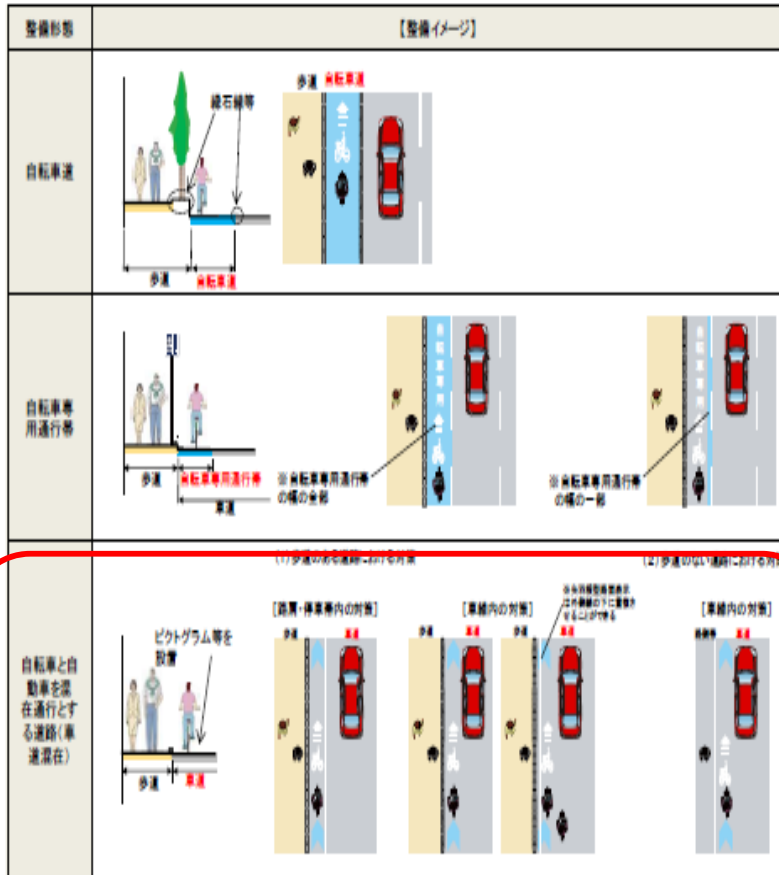
▽ L型街渠 + 街渠柵



# 整備事例（注意喚起の看板）



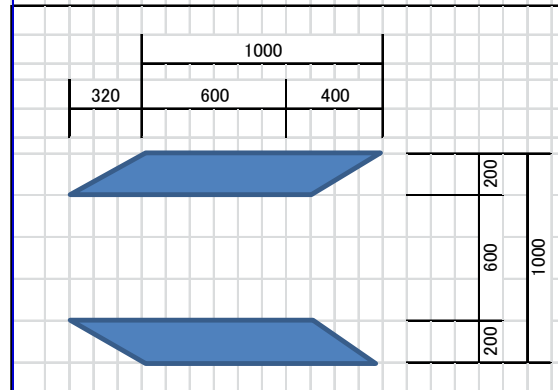
# 車道混在型の整備手法について



堺市型



矢羽根(通常型)



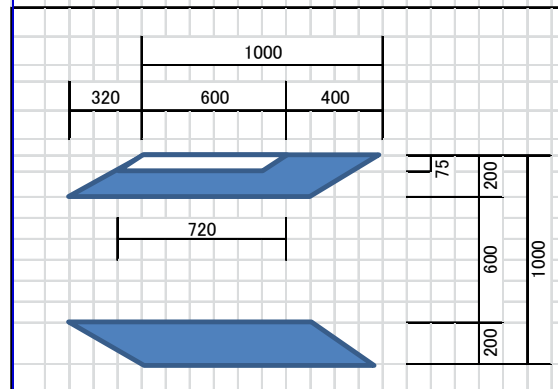
<形状>

・矢羽根先端及び末端の角度は 1 : 1.6

<仕様>

- ・JIS K 5665 3種1号相当(熔融式)
- ・青色 H65-60P ((一社)日本塗料工業会)

矢羽根(夜間視認性対策型)



<形状>

・矢羽根先端及び末端の角度は 1 : 1.6

<仕様>

(矢羽根部分)

- ・JIS K 5665 3種1号相当(熔融式)
- ・青色 H65-60P ((一社)日本塗料工業会)

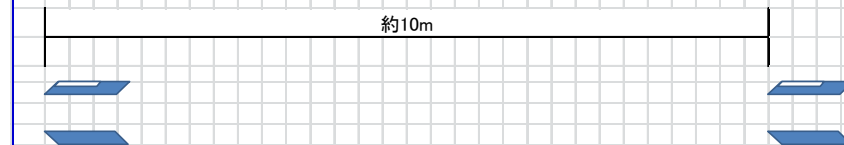
(夜間視認性対策部分)

- ・JIS K 5665 3種1号相当の性能を有し、車両通過時等の騒音が抑制されていること。
- ・白色

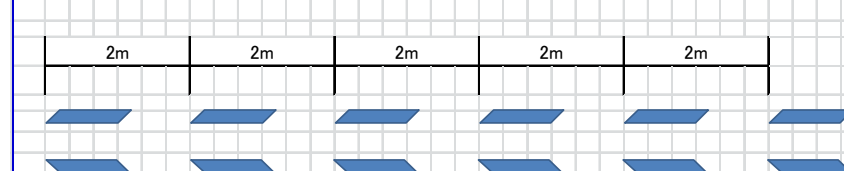
対策部分については、以下の2通りをお見積り下さい。

- ・3MステイマークAW380同等品以上
- ・高視認性区画線(熔融式、非リブ式)

標準割付(単路部) ※夜間視認性対策型



標準割付(交差点部) ※通常型





# 堺市道路の構造の技術的基準を定める条例

## 4-4 路肩（自転車の通行空間） — 第6条 —

独自規定

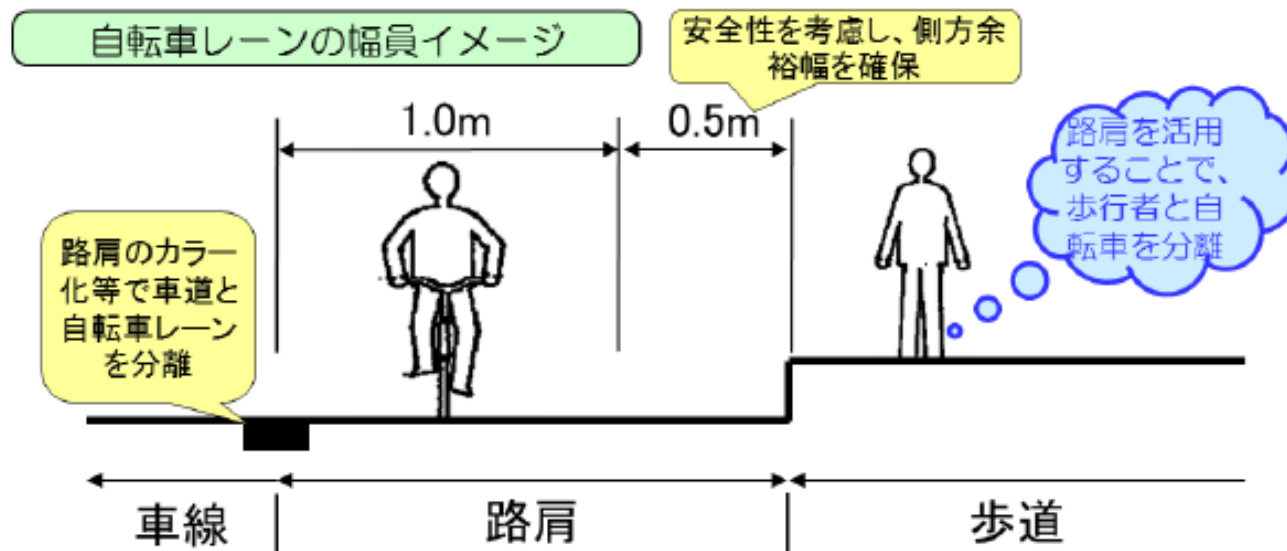
(路肩)

4 第3種及び第4種の道路(自転車道を設ける道路を除く。)のうち、安全かつ円滑な交通を確保するため自転車の通行空間を設ける場合においては、車道の左側に設ける路肩の幅員は1.5メートルを標準とするものとする。

- ❑ 路肩を活用した自転車の通行空間の幅員として、自転車の通行空間1.0mに側方余裕幅0.5mを設けることとして定めている。
- ❑ 道路構造令では、自転車の通行に関して、自転車道と自転車歩行者道以外での空間確保の位置付けがないため、堺市条例において規定を設けた。

メリット

車道を通行する自転車、歩道を通行する歩行者の安全確保  
自転車通行空間の確保について柔軟性が拡大





# 色のはなし



青色



ベンガラ色

バスレーンに用いられている



黄色

バス優先レーンに用いられている



緑色

スクールゾーンに用いられている

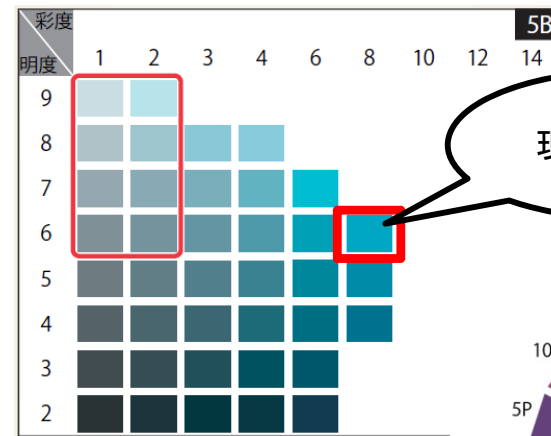
塗料番号：65-60P（日本塗料工業会）

→マンセル値：5B 6/8

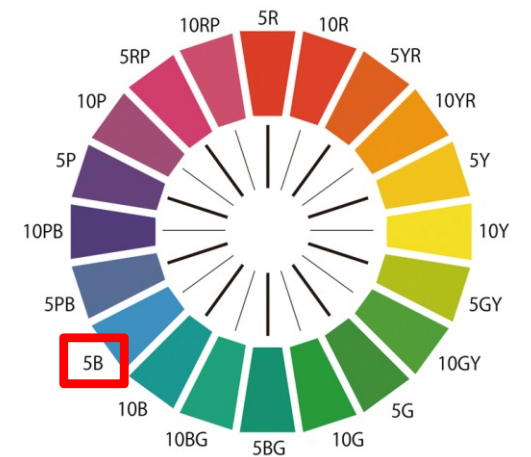


市道宮山台茶山台線

色相 明度 彩度



現在使用色



色相環

明度・彩度を落とした景観に配慮した色を検討中

# 景觀配慮型施工例



標準型






# 狭小幹線道路での施工例



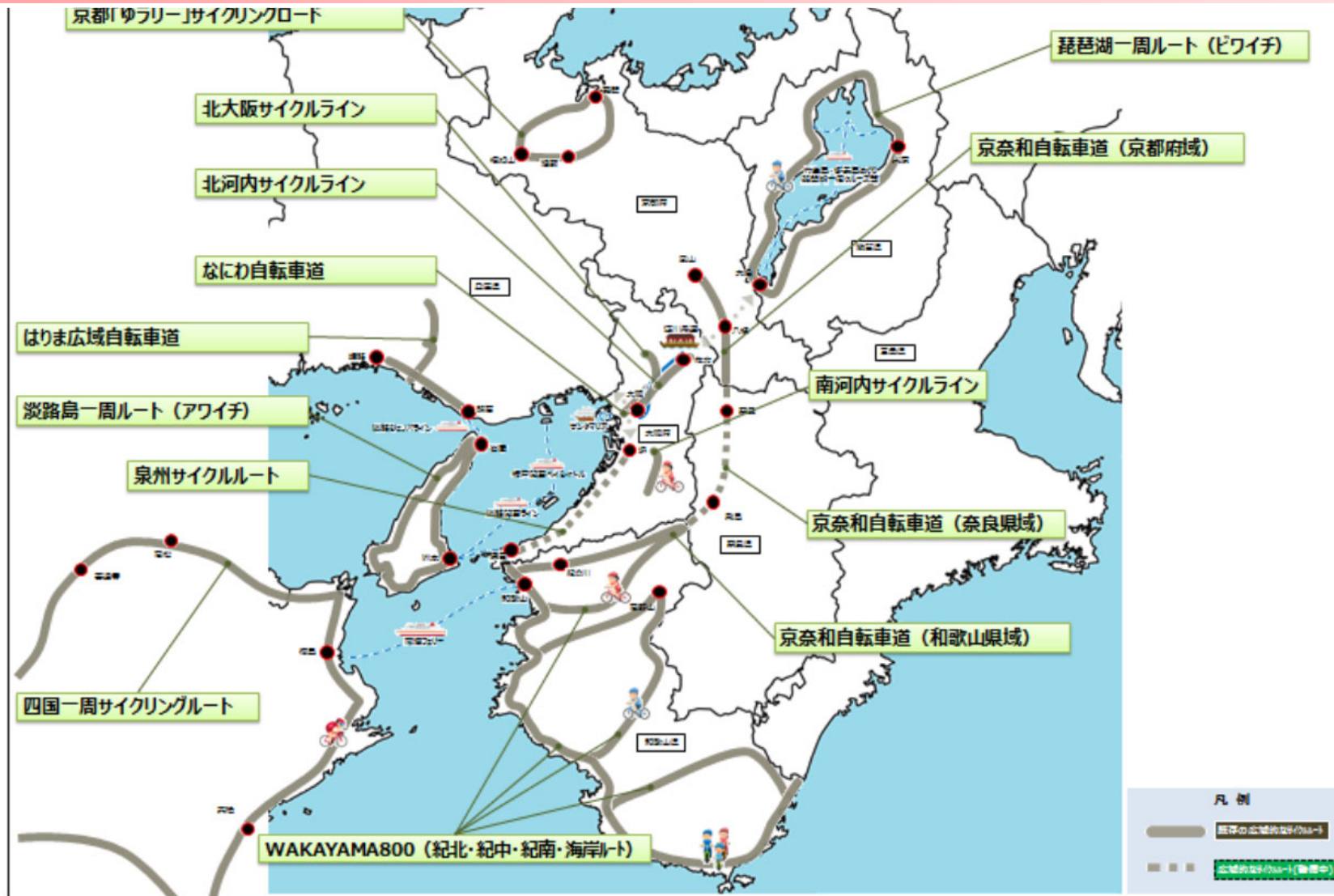
矢羽根施工幅員

1.0m  0.75m?



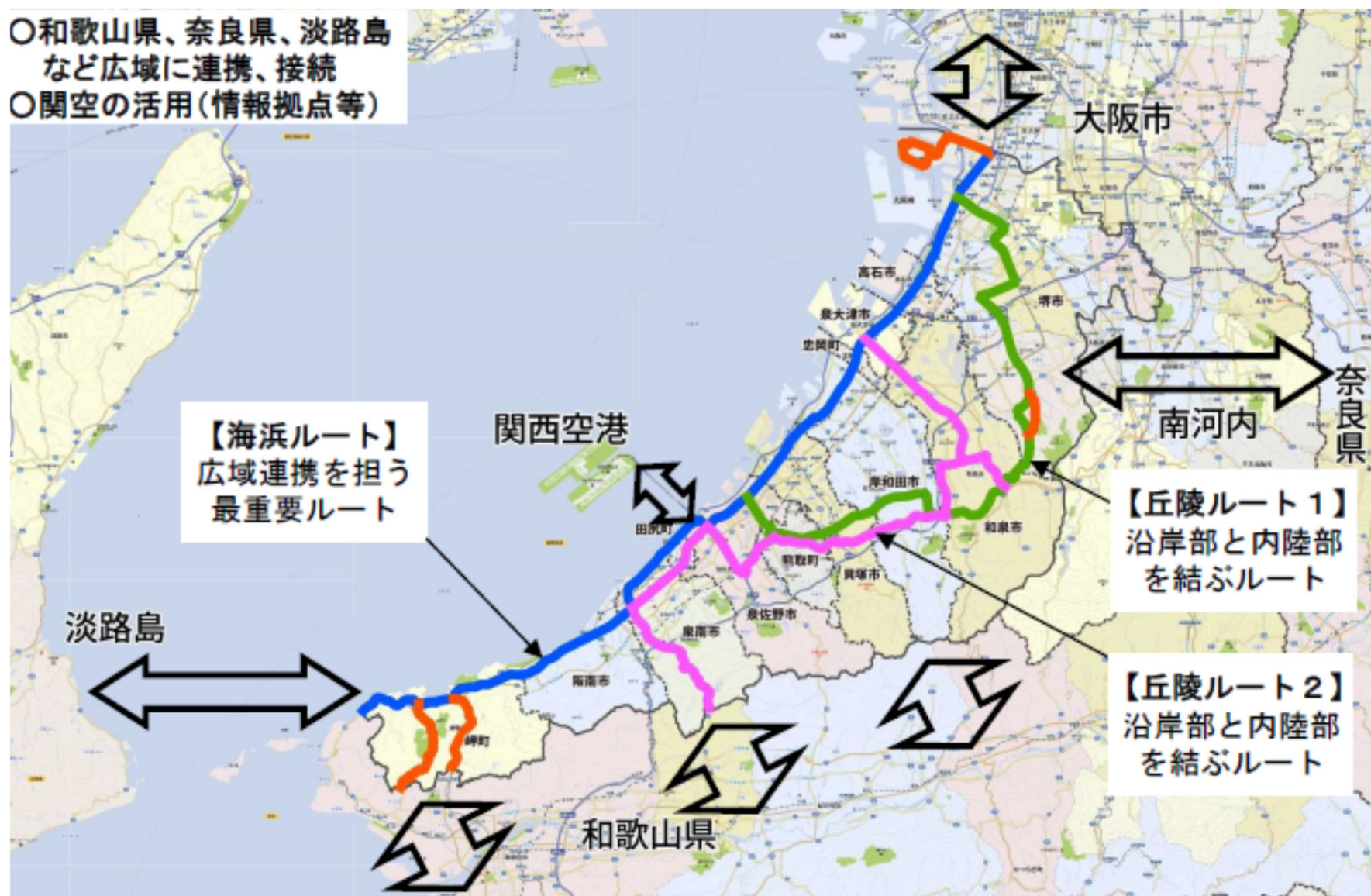


# 大阪周辺部の広域サイクルルート



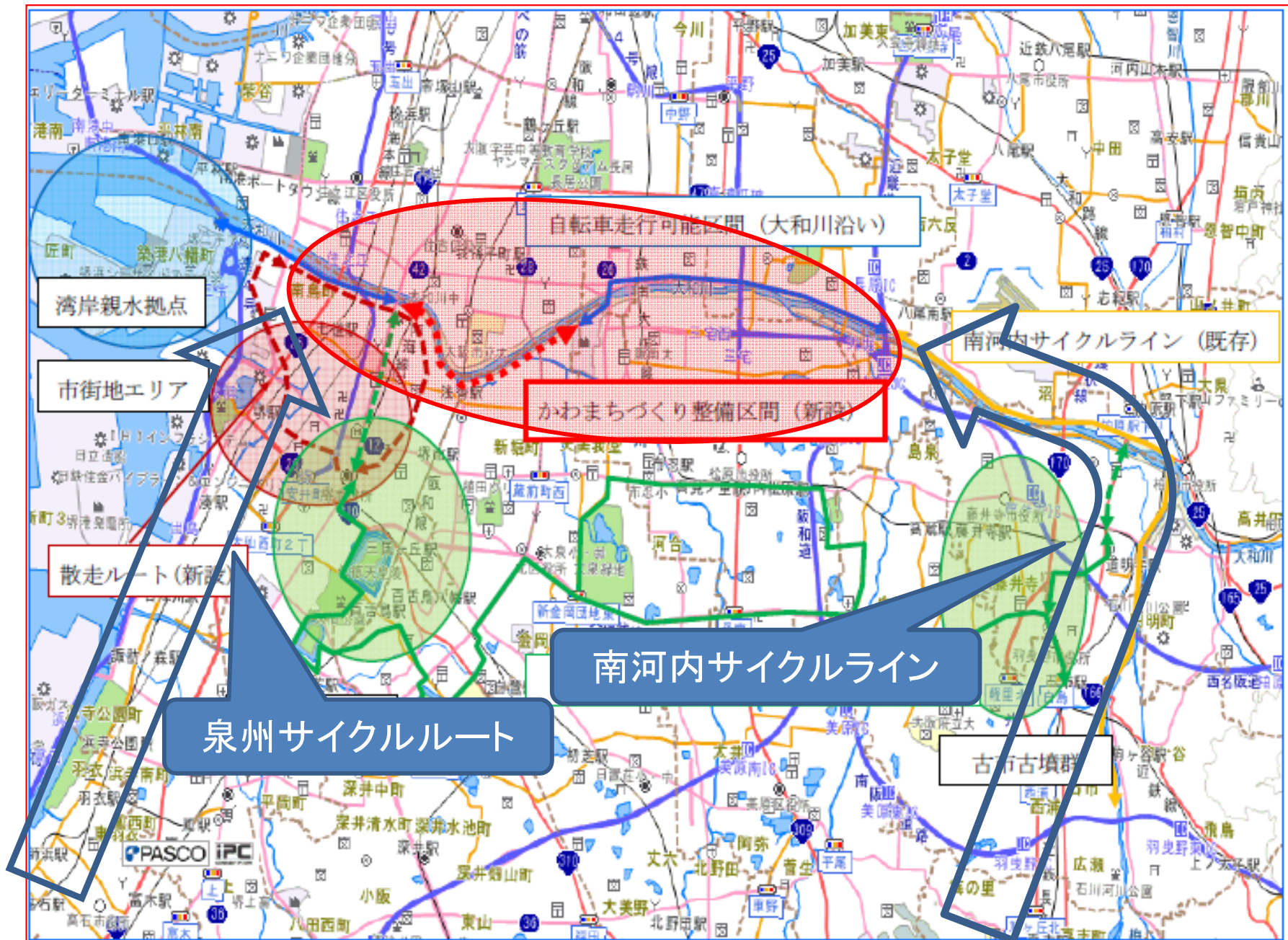
# 泉州サイクルルート構想

- 和歌山県、奈良県、淡路島  
など広域に連携、接続
- 関空の活用(情報拠点等)

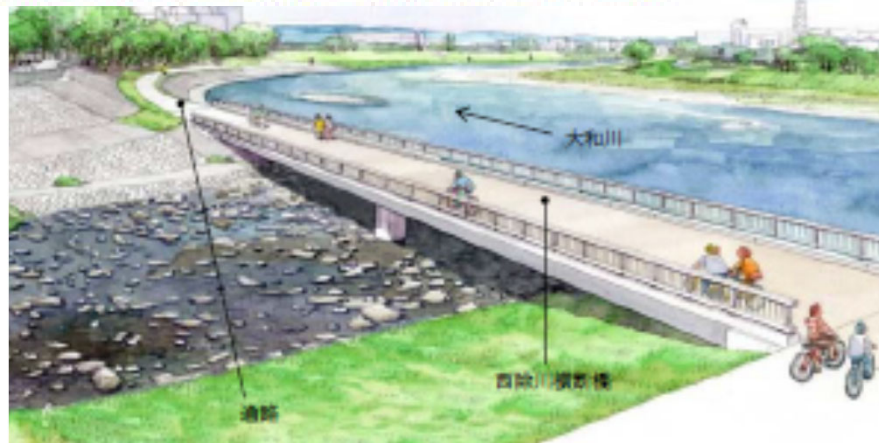


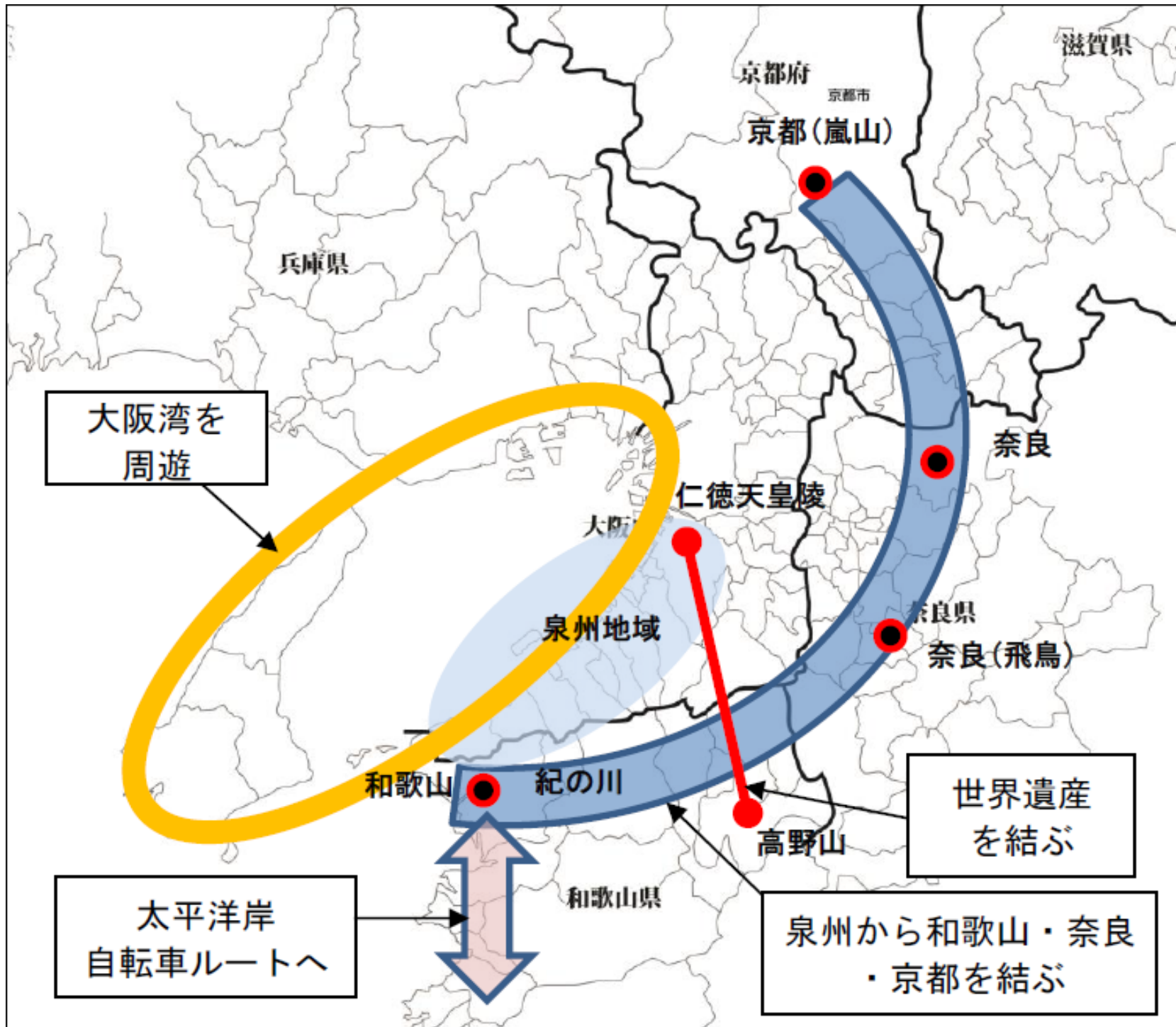


# 大和川サイクルライン構想











# ツアー・オブ・ジャパン 堺ステージ



ご清聴ありがとうございました